

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **山鹿-男43**

年月日 2019年8月7日(水)
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		愛知高等学校						大阪体育大学浪商高等学校						B		
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		会場		会場		
熊本県		山鹿市		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		山鹿市総合体育館		
前半		A	B	最終結果		第1延長		第2延長		7m追加		準々決勝		準々決勝		
		8	9	24	23	4	3					A	B			
7m得点/総数		A		チームタイムアウト		チームタイムアウト		B		7m得点/総数						
		0/0		1	2 後半	3	1	2	3	2/3						
				2718	0915	2945	2421									

No.	愛知高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪体育大学浪商高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	加藤 将輝							2	安達 圭吾	4		1			
2	本間 元裕							3 C	山田 陵平						
4	三谷 光翼	3						4	佐々木 惇也						
5	小切間 慶大	1	1	1				5	木村 翔太	1					
6	速水 遼馬							6	濱田 昇悟						
7	平田 泰士	1						7	泉本 心	6	1				
8	加藤 瞳真							11	下川 陽向	1					
9	水谷 倭	9						13	難波 克	2					
10	松野尾 航生	2	1					14	篤谷 日向						
11	打越 悠真							15	森岡 栄翔						
12	大森 淳矢							16	今井 寛人						
13	高橋 哲汰	3	1					17	泉本 繁輝	3					
20 C	森本 大貴	2						18	松川 兼心	6					
21	小林 翔汰	3		1	1			21	林 優尊						
役員A	川瀬 秀一							役員A	徳永 昌亮						
役員B	奥村 卓巳							役員B	山本 智章						
役員C	大橋 慶							役員C	浅野 帆夏						
役員D								役員D							

A	川瀬 秀一	チーム役員A署名	徳永 昌亮	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	蟻川 武司	瀬良 研一	蟻川 武司	瀬良 研一
TD	永守 浩之	稲津 憲二	永守 浩之	稲津 憲二
MO	比留間 康		比留間 康	

No. 17 ハンドボール

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 7日 水曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	男子
回戦	準々決勝戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		愛知	24	8-9 後半 12-11	23
	第1延長		第2延長		7MC
	2-3		—		—
	2-0		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	愛知のスローオフで試合開始。愛知が三谷のカットインで先制。浪商はトップディフェンス木村を中心に3-2-1ディフェンで厳しいボールチェックから、松川の速攻で追いつく。泉本(心)のカットインで加点。愛知は水谷のミドルシュートで加点し、6分過ぎは2-2の同点。浪商GK今井がセーブを連発。浪商が泉本(繁)、泉本(心)、松川の3連続得点で5-2の3点差にした。ここから愛知GK大森もファインセーブを連発、小林、平田、水谷らの5連続得点で、一気に7-5と逆転。浪商は、トップディフェンス木村を中心に詰めが鋭く厳しいディフェンスからの反撃で下川、松川のサイドシュートで同点にする。終盤、愛知は退場者を出すもGK大森が速攻ノーマークシュートを阻止。29分、浪商サイド泉本(心)がシュートを決め、1点リードで折り返す。
	後半	後半出だしは、浪商の2連続得点、すかさず愛知も2連続得点して追いつく。しかし、浪商が粘り強いディフェンスからリズムを掴み12分過ぎには、松川5点目の得点で、12-16で4点差のリードをつける。ここから愛知が奮起。水谷、松野尾、高橋らが得点し、23分過ぎに18-18の同点とする。両チームのGKが好セーブを見せる中、浪商は残り1分を切ったところで泉本(心)のミドルシュートで1点リード。残り15秒で愛知はすぐさまタイムアウト。開始後、7人攻撃の頭脳プレーで小切間が残り5秒で同点弾を決め延長戦へ。延長戦前半、お互い渾身のディフェンス。浪商、泉本(心、繁)、松川で3得点。愛知は水谷のリストの利いたシュートで2得点。後半は、愛知三谷のサイドシュートで同点、直後、決まったら1点リードされる7mTをGK大森が気魄で阻止、決勝点は松野野。劇的な幕切れで、愛知が24-23で勝利した。

記入者	野口 浩司
-----	-------